

Affiliated with the International Association
THE Y' S MEN' S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI
Chartered October 30, 1994



〒 191-0032
東京都日野市三沢 884-1-302
中塚 辰生 TEL : 042-592-7965
携帯 : 090-8461-1739
e-Mail : t.nakatsuka@softbank.ne.jp

2016 年 7 月

第253号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 中塚 辰生
副会長 小口 多津子 多河 敏子
書 記 久保田 貞視 小口 多津子
会 計 長谷川 あや子
林外会長 並木 雍子
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清 多河 敏子
直前会長 長谷川 あや子

国際会長主題 Joan Wilson(カナダ) "Our Future Begins Today"
スローガン: "Together We Can Do So Much More"
アジア地域会長主題 Tung Ming Hsiao (台湾) "Respect Y' s Movement"
スローガン: "Solidify Y' Men Family for Better World"
東日本区理事主題 利根川 恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」
スローガン: 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」
あずさ部部長主題 浅羽 俊一郎 「あずさ部は贈物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
クラブ会長主題 中塚 辰生 「クラブ活性化に全員が一步前進」

巻頭言

会長就任に当たって

中塚辰生

1997年、久保田貞視メンの紹介で、八王子クラブに入会し入会年度の順番で、2004年に1回目の会長に就任し、今年12年ぶりに、2回目の会長に就任する事になりました。扱て、1. 私の会長主題は、『クラブの活性化に全員が一步前進。』としました。2. 抱負として、「クラブメンバー、一人ひとりの、持てる力を活かそう！」と、しました。3. 重点目標として、「中大学Y生との交流・協働を、継続する。」と、掲げました。4. その他、クラブの現況として、「チャリティーコンサ

2016年7月 キックオフ例会

日時: 7月9日(土) 18:00~20:00

場所: 北野事務所 2階 大会議室

受付: 望月、辻

司会: 茂木

開会点鐘 会長

ワイズソング 一同

ワイズの信条 一同

ゲスト・ビジターの紹介 会長

新旧会長引継ぎ式 新旧会長

新会長新年度所信表明 会長

聖書朗読・食前感謝 並木

会食

一人一言(1分間スピーチ) 全員

スマイル 辻

ハッピーバースデー 会長

報告: 連絡事項 会長・担当者

閉会点鐘 会長

先月の例会ポイント(6月)		BFポイント	
在籍	18名	切手(国内・海外)	0g
メン	14名	累計	240g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	78%	累計	0円
メネット	4名	スマイル	9,041円
ゲスト	4名	累計	91,542円
ビジター	0名	(4・5・6月の25,431円を熊本地震支援)	
ひつじぐも	5名	オークション	0円
		累計	15,000円

(聖句)

「何事も、不平や理屈を言わずに行いなさい。そうすれば、とがめられるところのない清い者となり、よこしまな曲がった時代の中で、非のうちどころのない神の子として、世にあって星のように輝き、命の言葉をしっかり保つてしよう。こうしてわたしは、自分が走ることが無駄でなく、労苦したことも無駄ではなかったと、キリストの日に誇ることができるでしょう。」

(フィリピン人への手紙2章14節~16節)

ートが、地域に定置している。」「メネットの協力が、クラブ活性化に貢献」(この項は、先般、5/14の当クラブがホストした、「アイリス評議会」にて、当時会員増強事業主査、でありました、並木信一メンの報告を、引用させて頂きました。)

7月からの新年度では、8/1~7に、国際ユースコンボケーションが、台湾、台北にて開催され、中大学Y・ひつじぐも、より 須郷利貴 さん、佐宗伶子さん の2名が派遣され、貴重な体験をして戴き、お二人に10/8(土)10月第一例会・中大ナイトで、経験談を発表して戴く予定です。

最後に、私事で恐縮ですが、入院中の弟の件で、クラブの皆様へ、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、その節には、皆様のご協力を、何卒宜しく、お願い申し上げます。

2015-16 年度会長を終えて

長谷川 あや子

ワイズに入会して初めて会長を仰せつかったのは 2003 年のことでした。それから一巡り、2 回目の会長を受けることになったのですが、前年の 2014-15 年度 (久保田会長) は理事表彰の優秀クラブ賞を受賞しましたので、その後を継ぐ者として身の引締まる思いでスタートしたことを憶えております。

初めての時とは違い、ワイズの流れやなすべき事柄は理解していらしたので戸惑うことはありませんでしたが、対外的な行事であるチャリティコンサート、八王子クラブがホストクラブとして準備をしなければならない 2016 年 1 月の在京ワイズ合同新年会、5 月の第 3 回あずさ部評議会、DBC 合同例会についてはずっと心を占めていました。

しかし、「案ずるより産むがやすし」で皆さまのご協力のお蔭でいずれも盛会で無事に終わり、ほっといたしました。

会長主題は「若い人の成長を願い、ともに歩む」といしましたが、その主題に添ってたゆまず進むことが出来たか・・・若い人に働きかけ、ともに成長できるように、内容を深め、育てていくことをクラブ全体として努力してきたと思います。

中大学 Y との交流の始まった最初の時期から献身的に働いて下さった中塚さんを始め、クラブメンバーがそれぞれの立場で濃やかに熱心によりよいものへと育てていく努力をしてきたと思います。私たちも彼らから教えられることが多く、特に 15 年に亘る歴史の中で自発的にワイズ係を作って下さり、参加者をまとめ連絡・報告など若い方の努力が大変大きく、感謝しています。

10 月の学 Y ナイトも定着してきました。IYC、AYC、又はタイ・スタディキャンプの報告会など中大学 Y の皆さんが主体となって例会を作って下さるのが嬉しく頼もしいです。私たちも若い人を失望させることのないようにがんばりましょう。

例会は各担当班がプログラム作成をして下さり、それぞれの月で個性的な例会が開催されました。

今年度もメネットの皆さまには大変お世話になりました。老人ディサービスセンター鍵水でのボランティアを始め、例会の出席、対外的な行事へのご協力、メネットナイトの開催、本当にありがとうございました。

「うちのブリテンが一番」と内心思って大会に出席いたしました。一年を通じて 6 ページ (6 月は 8 ページ) のブリテンは八王子クラブだけです。内容も写真も構成も読みごたえのあるものだと自負しております。賞は頂けませんでした。これからも充実したブリテン作りをいたしましょう。

みなさまのご協力のお蔭で 2015-16 年度会長を終える事が出来ました。一年間、お支えありがとうございました。

第 19 回東日本区大会に参加して

長谷川 あや子

第 19 回東日本区大会は 6 月 4~5 日、長野市若里市民文化ホール、ホテルメルパルク NAGANO で開催されました。海外、西日本区からの出席者を含め 412 名が参加いたしました。設立 6 年、会員数 12 名の長野クラブが東日本区大会のホストに立候補するということが自体が快挙でした。ユースの会に出席する小口さんと代議員会に出席する私は、長野に 9 時 30 分に到着すべく早朝の出発でしたが、快晴に恵まれて気持ちのよいスタートでした。

バナーセレモニー後、渡辺隆理事によって開会が宣言され、長野市長 (副市長代理)、島田日本 YMCA 同盟総主事、エドワード・オン アジア地域会長、遠藤通寛西日本区理事からご祝辞を頂きました。この一年の間に大切な何人もの先達を天に送りましたが、大会のメモリアルアワーは改めてこの方たちが築いて下さった礎をしみじみと感じさせてくれます。東京まちだクラブ・小山正直さんのお写真を見て懐かしさがあふれました・・・

東日本区アワー I にて理事挨拶、年次報告、年次代議員報告、部長・メネット委員長報告があり、最後に西日本区次期理事岩本悟メン (熊本にシクラブ)、日本 YMCA 同盟光永さんから熊本地震報告がありました。休憩後、一日目のメインイベントである「天台声明 (善光寺天台声明研究会)、善光寺詣り—絵解き口演 (長野郷土史研究会)、信州縁の曲を一緒に歌いましょう (吹奏楽団 夢)」がありましたが、声明など初めて聞きましたのでびっくりいたしました。絵解き口演の暗誦に感心し、信州縁の歌の合唱は会場が一つになりました。晚餐会では食前感謝が仏教の作法で行われましたが徹かでも良かったです。会場で熊本地震の支援募金が集められ須郷さん、佐宗さん、藤永さんが活躍して下さいました。

二日目の東日本区アワー II では事業主任報告と表彰式、理事引き継ぎ式、次期理事所信表明、次期役員紹介が行わ

れました。八王子クラブはCS/BF/TOF/RBMの達成賞、使用済み切手収集協力賞、YIA推進賞、ロースター広告協力賞を頂き、DBC交流優秀賞では壇上で表彰されました。17年に亘る相互訪問の交流が評価されました。なお、礼拝献金は101,060円、晩餐会会場募金は245,405円でした。

すべてのプログラム終了後、久保田さん、茂木さん、小口さん、私の4名は戸隠神社参拝に出発しました。戸隠の新緑と春セミの音に包まれて奥社まで参拝し、至福のひとつを過ごすことが出来ました。大会の最初から最後まで実に行き届いた素晴らしい内容でした。長野クラブのみなさま、ありがとうございました。



東日本区大会 DBC交流優秀賞

タップダンスのタベ

多河敏子



6月11日の例会はTap Dance Company FreiheitのLilyさんと石原由紀さん、山口祥吾さん(大学4年)、田附紗夕(中学1年)によるタップダンスの披露でした。Lilyさんの自己紹介に続いてタップダンスのお話、その後に実演が始まりました。

昨年4月家の近くにある横山市民センターでタップダンスを見せてもらう機会がありました。タップダンスはアメリカの黒人の人達が道端で始めたのが最初とのこと。Lilyさんは岡山県のご出身、中央大学法学部法律学科を卒業後、20歳でTapと出会い大学卒業後NEW Yorkへ単身渡米。チアダンスは1910年にハーレムで始まったのだそうで

すがチアダンスの伝統的な踊り方をリオで学んで来られたそうです。ニューヨークでは道路でもどこでも踊れるのだそうです。初めて見るタップダンスは写真のように堅い楓の木で出来た板の上を上手にタップして素晴らしく、印象に残る演技でした。出来ればクラブ例会の時に来ていただき、皆さんにも見て貰いたいと思いました。Lilyさんと石原さんに話したところ、自分たちのしている活動を多くの人に知ってもらえる事なので嬉しいと話されました。Tap Dance Company Freiheitは西東京エリア最大のタップダンス専門スタジオとのこと。多摩センター校・国分寺校では3歳から90代の人まで幅広い年代が在籍していて、本場ニューヨークで研修も行い、キッズ・ジュニアの専門クラスも設置されているそうです。親子や3世代と一緒に楽しめる趣味・特技として多くの方に親しまれているとの事。今まで企業のパーティーから商業施設でのイベントなど幅広く出演し華やかなパフォーマンスがパーティーを彩り、迫力のある足音は感動を呼ぶと好評を博しているそうです。座ったまま参加できるチェアタップダンスワークショップやチャリティーライブを行う等、年代や地域のニーズに沿ったプログラムを行っているそうです。終わってからみんなだて靴を床にタップしてみました。楽しいひと時でした。

絹の道ボランティア メネット・メンの親睦会

メネット 辻 久子

6月13日月曜日、小雨降る午後に、いつものメネットのたまり場の真向かいにある『マチェマチェ』に八王子ワイズ女性たち16名(メン4名、メネット6名、ボランティア6名)が集まった。(ワイズ、今はやりの女子会!)

もうこの親睦会は何回目かしら?ワイズメネットが絹の道で奉仕活動の一環として始めたこのボランティアは、茂木メネット・山中メネットが中心になって、制作の内容を考え、材料を揃えて、月1回に通所の方々にペーパーフラワー(昨年までは手工芸もあって月2回行われていた)の作品が出来上がるまで、時にはメン・メネットが加わり、出席者のそばで優しくことばをかけ、手助けをしながら完成する喜びを分かち合うという、そのボランティアらの姿勢に賛同し、友が友を呼び、赤羽さん、石井さん、山口さん、昆さん、下重さんらも加わり、今日に至っています。

「こんにちは!」と会長の大久保さんのご挨拶で始まり、前菜・メインデッシュはハンバーグ野菜添え・ご飯派?パン派に別れながらの楽しい会食、勿論コーヒーとケーキ付きでお腹はいっぱい!内心でボランティア時に行けない者はちょっと気おくれはあったものの、おしゃべりは盛り上がり!互いの近況に聞き入り、おまけに夫をまな板に乗せて楽しんだり、健康を保つ秘訣を聞いてニンマリとしたそんな雰囲気、そんな女子会が似合う会でした。チャント真面目な報告でした、おわり!

第5回日本YMCA 同盟協議会に出席して

久保田貞視

同盟協議会が2016年6月18日・19日の両日、東山荘において開催された。

同盟協議会は、都市YMCA 選出代議員68名、学生YMCA 選出代議員13名、推薦同盟代議員15名に職務上3名の99名の出席委員により構成され、そのほかにゲストとしてワイズメンズ国際協会の東西日本区理事及び次期理事他の列席者を加えて150名が出席。私は、同盟常議員として推薦同盟代議員の一人として参加した。

協議会Ⅰ：議事の第1部は島田同盟総主事による2015年日本YMCA同盟事業報告・決算報告が報告され、監査報告の後、担当の私が主事退職金中央基金・職員年金基金決算報告をした。

第2部は2016年度同盟事業計画で島田総主事により次の項目について詳細な報告があった。

1. 「オールジャパンYMCA 中期計画」最終年の確実な遂行
- II 国際協力事業の協働強化
- III 地域社会との協働・パブリックサポートの獲得
- IV 学生YMCA運動支援の強化
- v 国際青少年センターYMCA 東山荘の新生
- VI 全国YMCA の運営強化

第3部は次期同盟常議員の選出があり、鹿児島YMCA 加盟認証式が行われ、熊本地震支援報告があった。

協議会Ⅱ：YMCA ブランディングに関する内外調査の報告では委託先のグラムコ株式会社による詳しい調査報告と提案がなされた。

翌朝の「朝の讃美と祈り」では熊本地震被災地支援の報告と献金がなされ、昼食の後、

協議会Ⅲ：YMCA ブランディング・プロジェクトについて発題があり、グループ協議があり、全体発表があった。

ブランディングについては、ブランドコンセプト検討として、1. 何はともあれ、顧客視点で考え抜く！2. 目線を高くして、ALL JAPAN YMCA で考える！3. 過去や現状にとらわれ過ぎず、常に未来志向で考える！の3ポイントを掲げ、ブランドバリューは、深堀のポイントとして1. 社会に対して「社会課題の解決」、2. 生活者（個人）に対して「教育」、3. 社会と生活者に対して「場」の提供を挙げて「したい何かが見つかり、誰かとつながる。

私が良くなる、かけがえのない場所」とし、ブランドビジョンは「互いに認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。」を目標とした。

ブランドパーソナリティとしては「心をわかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ」ブランドとした。

このYMCA ブランディングには3時間かけた。今後の取り組みは9月までに推進担当者会を設置し、具体的に取組んでいく。

協議会はこの後、主事認定証授与式があり、上林牧師の聖日礼拝で閉会となった。

今回の協議会の目玉は、YMCA のブランディング統一であり、ALL YMCA でスタッフ・メンバーが一丸となってYMCA の再生に取り組むことを確認した有意義な協議会であった。

ICY にむけての決意

中央大学YMCA 2年 佐宗 伶子

私が初めてワイズメンズクラブと直接的な交流をもったのは昨年5月におこなわれた草刈り BBQ でした。

入会したばかりでワイズメンズクラブについて詳しくなかった私にとって、八王子ワイズの方と楽しくお話しをすることで、どのような団体なのか理解できる機会となり、充実した1日となりました。

私は、中央大学の国際ボランティアサークルひつじぐもに出会った時から大学生のうちに自分を変える経験をしたと考えていました。そんな時、BBQ で八王子ワイズの久保田さんからICY のお話しをいただきました。

幼い頃から派遣団員として中国訪問、留学、国際交流協会でのボランティアを通して数々の国際交流の場に足を運んできた私にとって、とても興味深いお話しでした。

ICY のような世界中の学生と交流する経験を求めているので、この時から不安や迷いもなく必ず行こうと決心していました。

今年のICY のテーマは” Service in Act” です。毎月、国際からこのテーマに沿った課題が出されています。ワイズメンズクラブが抱える問題点から解決策を考えたり、ユースとして何ができるのかということをも自分なりに考えを膨らませています。

長野での東日本区大会でのオリエンテーションでもそれぞれのワイズメンズクラブが抱える問題を話し合いました。例えば、ユースとの交流がなく活動内容にも世代間ギャップが生まれてきている、若者間のワイズメンズクラブの認知度が低い、などという問題があがりました。

ICY という機会に恵まれた私は、この経験を形に残し、語り継いでいくことで力になりたいと考えています。

ICY では英語でのディスカッションが求められます。英語力が言い訳にならないよう、また円滑に参加できるよう、英語の学習には研鑽に努めています。

そして帰国後、充実した報告会が行えるよう吸収できることは全て吸収する勢いで臨んでいきます。

台湾での7日間が今後の私を築く一部として残っていくよう、帰国後の活動にも積極的に参加していきたいと思えます。

この度、八王子ワイズの方々には推薦していただき大変感謝しております。

東日本ユースの代表として恥ずかしくないよう、また私自身、後悔が残らないよう精進していきます。

中大・学Y便り

ボランティアを学ぶ

大矢 千尋

『ボランティアとは、自らの意思により参加した志願兵のこと。長じて、自主的に社会活動などに参加し、奉仕活動をする人のこと。また、奉仕活動そのものを指すこともある。(ウィキペディアより引用)』この作文を執筆するにあたって、改めてボランティアについて調べてみました。ボランティアとは何かというのは、なかなか深いものがありそうです。例えば、小学校や中学校の教師が「夏休みは積極的にボランティアに参加しましょう。」などということをよく言いますが、たとえ軽くでも人から強制されてしまうと、それはもうボランティアとは言えないのかもしれない。

なんだか固いことを書いてしまいました。私がひつじぐもに入会したのは、「何か新しいことを始めたい。どうせなら人の役に立つことにしよう。」という軽い気持ちからです。他に理由を付けるとすれば、私の学びたいことにボランティアの経験を活かせるかもしれないと感じたからです。私は総合政策学部国際政策文化学科に所属しており、主に民俗学や人類学に興味を持っています。ボランティアを通じた人との関わりや繋がりから、新しい発見があるのではないかと考えます。

ひつじぐもの活動の中では、児童館のお手伝いに興味があります。現在は目標が変わりましたが、もともと子どもが好きで幼稚園教諭を目指していたこともあったからです。中学生のときの職場体験先も幼稚園を希望して訪ねました。小さな子どもたちの取る行動は思った以上に予測不可能で、骨が折れたのをよく覚えています。また、幼稚園の子どもたちに「お姉ちゃん先生」と慕ってもらえたのが良い思い出です。たった二日間だったのにへとへとになってしまい、体験先の先生方を心から尊敬しました。

ボランティアの意義を頭の片隅で考えながら、ひつじぐもの活動を楽しんでいきたいと思います。これからよろしくお願いします。

西東京センター便り

西東京YMCA便り

中里 敦

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです」(コリントの使徒への手紙2:18)

7月を迎え、キャンプの季節がやってきます。リーダー会、トレーニングを重ねそれぞれのキャンプを迎えます。冒頭にあげた聖書は、西東京センターが掲げている年間聖句です。「私たちは、目に見える部分だけで子どもたちをとらえるのではなく、まずは一人ひとりをかけがいのない存在として受け止め、認めてあげることが大切である。」と感じています。

つい目に見えるところにとらわれ、判断をしてしまいがちですが、子どもたちが持っている良さや感情は必ずしも言動に表れている分ではありません。また、子どもたちは、知らず知らず比較され、優劣が付けられています。

障がいがある、勉強できる、絵がうまい、走るのが速い等人よりも優れているところに注目が集められ、出来ないことに自信をなくしていきます。

しかし、YMCAでは神様に与えられたかけがえのない命(霊)を大切にすることで、そこにおいては、優劣も社会的な地位も関係なく誰もが平等であり、ありのままの姿が良いのです。

だからこそ、子どもたちは安心して、自分の居場所として、のびのびとキャンプを楽しみ、仲間を作り、成功体験をしながら心豊かに成長をするのだと感じています。

そして、見えない豊かな心の成長こそ、社会に出てから生きぬいていく糧になっていくものだと思っています。

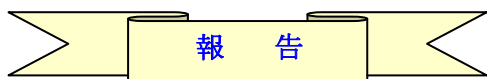
この夏も多くの子どもたちがYMCAで成長し、将来を担っていくための良い経験ができるよう祈っています。

(お 話)

6月の「中国語の聖書に親しむ会」で学んだ箇所にあった聖句です。この手紙の書かれたマケドニアのフィリペは金鉱山のある裕福な街で、アレクサンドロス大王の父親の名前です。ローマの植民都市とされたので、皆ローマの市民権を持っておりパウロの伝道をよく理解し、エルサレムへの献金協力をも惜しまなかった町です。ローマの獄中から書き送られたことを思いながらお読みいただければ、パウロのフィリペ人への熱い思いがくみ取れると思います。

この言葉は申命記3章5節からの引用とされています。モーセ五書の最後の書で律法の言葉を伝えたこととなります。パウロもよく覚えていますね。パウロからワイズに送られた聖句としてお読み戴けたらパウロも喜ぶことでしょう。

仲田 達男



○ 6月第一例会

日時：6月11日（土）18：00～20：00

会場：北野事務所大会議室

出席：久保田・小口・佐藤・多河・辻・中里・中塚・並木・橋本・長谷川・福田・茂木・望月・山本

メネット：大久保・久保田・辻・並木

ゲスト：石原由紀子さん・Lilyさん・山口祥吾さん・田附紗夕さん

ひつじぐも：井上なるみさん・佐藤千紘さん・須郷利貴さん・佐宗伶子さん・木下瑞貴さん（27名）

卓話：タップダンスの夕べ

Tap Dance Company Freiheit の皆さん

・IYC参加者へ支援金贈呈（佐宗伶子さん、須郷利貴くん）

○ 6月第二例会

日時：6月25日（土）18：00～20：00

会場：北野事務所小会議室

出席：久保田・小口・多河・中塚・長谷川・福田・茂木・望月・山本（9名）

・2015-16年度会計決算

・東京YMCA夏祭り（8月27日）提灯掲載とお楽しみ抽選券（40枚）に協力

会費振込先

三井住友銀行 北野支店（普通）

0720654

東京八王子ワイズメンズクラブ

【次期の予定】

・7月キックオフ例会：7月9日（土）担当B班

・第1回あずさ部評議会：7月16日（土）11時～

・東京西クラブ創立40周年記念祝会：7月16日（土）13：30～17：30 中野サンプラザ会費7,000円

・東京多摩みなみワイズメンズクラブチャーターナイト：7月17日（日）16時～19時コンティ多摩センター会費7,000円出席予定者：久保田、小口、長谷川

・あずさ部部会：10月22日（土）

・部長公式訪問：11月第一例会～11月12日（土）

・高尾の森わくわくビレッジワイズガーデンの今後

7月16日（土）・第1回あずさ部評議会 中野サンプラザ 11：00～12：30（登録開始、10：30）15F リーフルーム 登録料500円 飲み物、各自持参

参加予定者：中塚、小口、多河、久保田、長谷川、茂木

7月誕生日の会員

中塚 辰生

7月20日

・東京西クラブ40周年記念例会

日時：2016年7月16日（土）13：30～17：30

（受付12：30～）会場：中野サンプラザ ブロッサム

出席予定者：久保田、小口、多河、並木、福田、茂木、長谷川

* 老人デイサービスセンター 鐘水 *

【報告】

6月13日（月）ペーパーフラワー 14：00～15：00

参加者：赤羽・石井・色川・久保田・下重・多河・山中・茂木

【予定】

7月4日（月）ペーパーフラワー 14：00～15：00

8月はお休みです

BF2016年6月報告

切手：（国内） 0g

累計240g

高尾の森わくわくビレッジ報告（7月号）

日頃より高尾の森わくわくビレッジの花壇をはじめとし大変お世話になっており感謝申し上げます。

7月に入り高尾ではこれから繁忙期に入ります。嬉しい事に6月は開所12年目にして宿泊数が過去最高の宿泊者数を記録しました。ありがたく感謝しております。また、ワイズの皆様ご支援頂き昨年の9月からスタートしております花壇はダリアの蕾に花が少しずつ開花してきました。ダリアの現況を写真にてお知らせ致しますのでご覧下さい。

7月も前月同様に宿泊者、日帰り利用者が多くなります。今後ご支援を頂ければ幸いです。暑い夏がやってまいります。皆様もお身体をご自愛頂きお過ごし下さい。



7月のイベント予定

オリジナルのTシャツを作ろう！

実施日：7月17日（日） 13時～14時30分

内容：真っ白なTシャツでオリジナルTシャツを作ります。スタンプや布用クレヨンやボールペンを使って絵を描いたモノを染料で染めるプログラムです。

対象：幼児（小学生までは保護者同伴）～大人まで
持ち物：白の半袖Tシャツ（綿100%）1枚、持ち帰り用ビニール袋、エプロン又は汚れも目立たない濃い色の服装。

定員：20名

参加費：お一人972円（消費税込み）

申込み：お電話または当日フロントにて申込み